



北見西ロータリークラブ会報

2024～2025年度クラブテーマ

《明るく・楽しく・元気よく

《広げよう親睦の輪！深めよう絆！育もう奉仕の精神！》

こころ

■創立日 昭和46年4月29日(1971/4/29)
 ■承認日 昭和46年5月27日(1971/5/27)
 ■例会場所 ホテル黒部(7条西1丁目)
 TEL 23-2251
 ■毎週木曜日 12時30分～13時30分
 ■事務局 TEL 25-2824

■会長 西村 清一 ■会長エレクト 松井 順仁
 ■副会長 山本 英敏 ■幹事 迫田 圭太



第2500地区ガバナーテーマ

「ロータリーに参画しましょう！ 誰かのために、あなたのために、自分のために」

第2505回例会

2024年11月7日(木)

ホテル黒部

本日のプログラム

ゲスト卓話「パキスタンでのポリオ根絶活動について」

2024-2025国際RC第2500地区 副ガバナー 紋別港RC 鶴見 誠一郎氏 R財団委員会

第2504回 例会記録

2024/10/24

会長挨拶

西村会長



大変お疲れ様でございます。今日もたくさんのメンバーにお集まりいただきまして有難うございます。先週は出席率が88%を超えたということで、本年度の目標にしております88%を初めて達したのかなと思います。石田委員長有難うございました。今後もいろいろな企画をしていただいて、出席向上に向けて施策、実践をして88%を何とか確保をして年間の平均も88%を超えるような動きをしていただきたいと思いますので宜しくお願い致します。

さて、水曜日になると木曜日の会長挨拶を考えて昨日の時点では頭の中では固まっていたのですが、今日会社に行き気付いたのが10月24日は世界ポリオデーなのですね。皆さんご存じかと思いますが。そこで急遽、用意してきた話は取りやめてポリオのお話をしたいと思い、朝からいろいろな資料をかき集めましたので、てんこもりにお話をさせていただきたいと思っております。もしかするとお食事が冷えるかもしれませんが、そして、いつもより少々長いかもしれませんが、ここは忍耐でご協力をいただければと思います。まず、ご紹介したいのは先般新聞にポリオの記事が載っていたのをご覧になった方いらっしゃいますでしょうか。それを読み上げます。『少女の面影を残す若いお母さんの目に涙があふれた。かたわらの壊れたチャイルドシートで赤ちゃんが眠る。「この子はポリオにかかってしまいました」。パレスチナ自治区ガザからのニュース映像。母と子の姿を見るうち、画面が涙でにじんだ。アブドウル・ラフマンちゃんはガザ地区で25年ぶりに確認されたポリオ患者だ。じきに1歳の誕生日が来るけれどお座りもはいはいもできなくなった。ワクチンさえ接種していれば防げたはずなのに、イスラエルの攻撃で機会を奪われた。ポリオウイルスの感染力は強い。不衛生な環境で広がり、小さな子どもがかかりやすい。致死率が高く、まひを起こすと生涯にわたって残るため、恐れられる。道民もかつてポリオの恐怖に脅かされた。1960年、夕張を起点に大流行し、全道で約1600人が発症し約130人が亡くなった。感染は全国で広がり、「うちの子を助けて」という母親の叫びがこだました。旧ソ連やカナダなどから緊急輸入したワクチンで終息に向かった。ガザで一時的な戦闘の休止が実現し、ワクチン接種が始まった。60

天気  (例会時) 最高気温 21℃

昼食

海老の唐辛子炒め

スープ サラダ

ザーサイ ライス

デザート コーヒー

■ニコニコボックス 伊東親睦活動委員

山本会員

米山の特別寄付、誠にありがとうございました。

神野会員

遅くなりましたが、結婚祝ありがとうございました。

千葉会員

よいことがありました。

万人を越す子どもが対象だ。必要量は確保できているというから、行き届くよう心から願う。さらに全面停戦へ進めないものか。かけがえのない命が奪われ、悲しみが満ちる光景をこれ以上見たくない。』という新聞記事が掲載されておりました。1960年私が生まれて1歳の時に夕張で発症し、そして全国に広がったということで少し驚きを感じております。そして、1600人が発症して130人がお亡くなりになられたという記事を見てびっくりしました。ロータリーがポリオ根絶に向けていろいろな動きをしているのは皆さん周知の事実かと思うのですが、日本にもそのような団体があるのをご存じでしょうか。JCVという団体でロータリーと同じような活動をされているようです。ポリオの話を見せてもらいますが、ポリオはポリオウイルスが引き起こす感染症で小児麻痺の原因の一つとして世界で恐れられていました。しかし、ポリオウイルスのワクチン接種が広がった今、1988年に125か国あったポリオ常在国も残るはパキスタンとアフガニスタンの2か国のみとなりました。ポリオによる治療法は現在も無く、ワクチンでの予防が子供の命を守る唯一の対策です。ポリオは1980年に根絶された天然痘に次いで、人類史上2番目に根絶可能な感染症と言われております。ポリオ常在国がゼロになるまで世界の子供たちは感染のリスクに晒されるため、JCVは子供ワクチン支援活動の継続そして活動への理解、協力が必要であるとメッセージとして謳っています。ロータリーとどういう関係をもって活動しているのか私には分かりませんが、このような団体が日本にもあるのだということを知り、今日調べて分かりました。そして、ロータリーは1985年にポリオプラスプログラムを開始して以来、ポリオ根絶のために20億ドル以上の寄付を行ってきました。また、ポリオ根絶活動のために年間500万ドルの寄付金を集める取り組みも行っており、これらにビルゲイツ財団がその2倍額の上乗せを加えます。これにより毎年1億5000万ドルをポリオの無い世界へという、子供たちの約束を果たすための活動に充てることができています。ビルゲイツさんの話は皆さんもご存じかと思いますが、ロータリーとビルゲイツさんの寄付金で毎年1億5000万ドルをポリオ根絶のために寄付をしているということを知ることができました。その財源の一部を私たちが会費としてお支払いをしている分担金のなかから上納として納めさせていただいていると。ポリオ根絶に向けて人的な部分であったり現地に行ったりはできないでしょうけれども、資金援助、資金支援として一翼を担っているということを知った時に、ここはそれぞれ自負してもいいことかなと考えております。実際、現地に行くことはできないと思いますが分担金会費のなかからお支払いをしている、知らないうちにポリオの根絶に私たちメンバーも寄与しているのだということも頭においていただきたいと思いますし、プライドとしてそれをもち続けることも大事なかなと思います。いかに皆さんからの寄付が支援をしているかということに認識を改めていただければ有難いと思います。そして、再来週11月7日財団の例会がございます。ここでも寄付を浅野委員長が皆さんのところを回ってお願いすると思っておりますけれども、今日このお話をさせていただきましたので非常に集めやすくなったのではないかと思います。

本日の例会は北見工業大学地域デザイン未来工学科教授 榊井様をお迎えして講話をいただくことになっております。宜しくお願い致します。

短い時間ではありますが、楽しく実のある例会でありますことをご祈念申し上げまして例会冒頭の会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告

迫田幹事

1) 1名の新入会員候補者の推薦がございました。

(株)ホテル黒部 代表取締役 黒部一哉 様

職業分類：ホテル

推薦者：西村会長・渡辺会員

なお本件はクラブ細則第11条「会員選挙の方法」に基づき、会員増強委員会、会員選考・職業分類委員会を経て10月の理事会で承認されましたことをご報告致します。ご異議のある会員は書面にて7日以内に理事会に申し立て下さい。

ご異議がなければ11月7日の例会より出席予定です。

2) 次週は特別休会となっております。お間違えのないよう宜しくお願い致します。

3) 国際ロータリー第2610地区ガバナーエレクト合同事務所から令和6年9月能登半島豪雨災害のご支援についての依頼がありました。11月7日はロータリー財団寄付がございますので、11月14日の例会で集めさせていただければと思いますので宜しくお願い致します。

はじめに

- SNSから情報を収集すれば、若年層からの意見を収集できるかも
- 収集した意見を解析すれば、地域行政への改善に活用できるかも



- ツイートにはどの程度行政に対する意見が含まれているのか
 - 相当数含まれている場合 → 定量的アプローチが有効
 - 一定数含まれている場合 → 定性的アプローチが妥当
 - 殆ど含まれていない場合 → 対象や方法を検討する必要

データと分析方法

定量的アプローチ：量的分析法

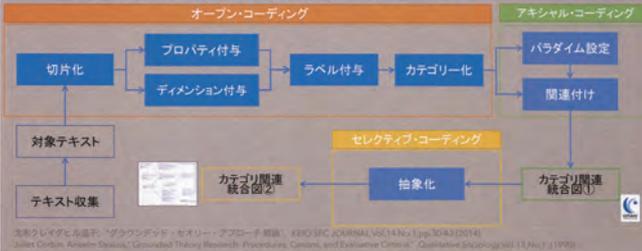
- 数値によってデータの統計的性質を分析できる
- 様々な統計的解析手法を利用できる
- データ例：選択式アンケート、国勢調査、選挙出口調査など
- 分析方法：主成分分析、因子分析、確率モデル、機械学習など

定性的アプローチ：質的分析法

- 意味や感情、関係性など数値化されない情報を分析できる
- データの量に関係なく分析できる
- データ例：自由記述アンケート、口コミ、行動観察、レビューなど
- 分析方法：Grounded Theory、ケーススタディ、エスノグラフィなど

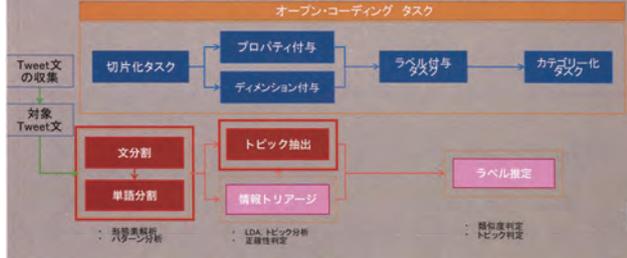
GROUNDED THEORY APPROACH (GTA)

- データをもとにして分析を進める
- データ中の現象のメカニズムを示す「理論」を生成する
- データから概念を抽出し、概念同士を関連付けて整理する



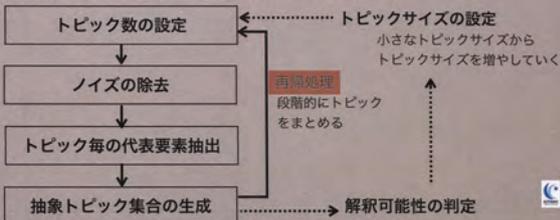
原問題の細分化：オープンコーディングのタスク化

1. GTA分析をサブタスク化する
2. サブタスクを実践可能なデータサイエンス手法を設計する
3. 各サブタスクを自動化する
4. サブタスクを統合してGTAを自動化する



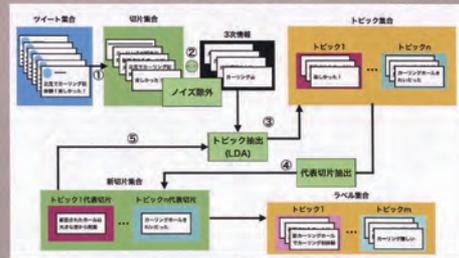
基本的なアイデア

質的分析法 (GTA) を自動化することで、疎なデータに対しても一定の性能で分類・整理ができる技術を実現したい



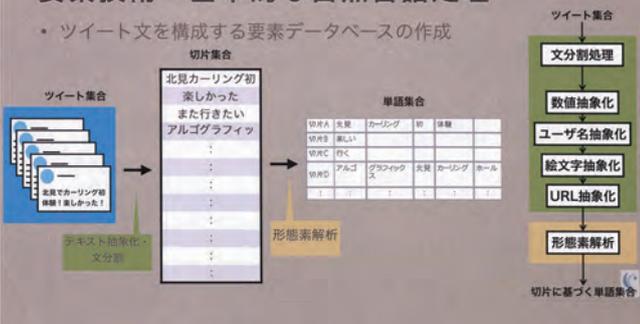
新しく構築した手法

→ トピック当たりの要素 (切片) 規模を考慮した再帰的LDA



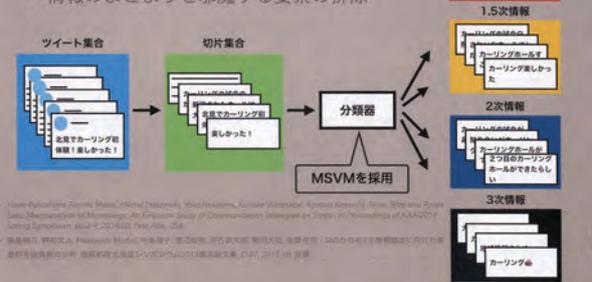
要素技術：基本的な自然言語処理

- ツイート文を構成する要素データベースの作成

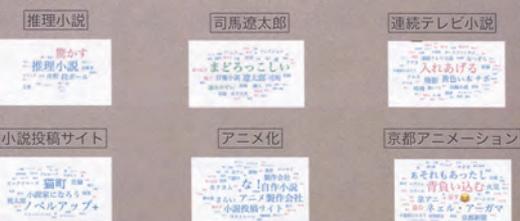


要素技術：確率的トピック抽出

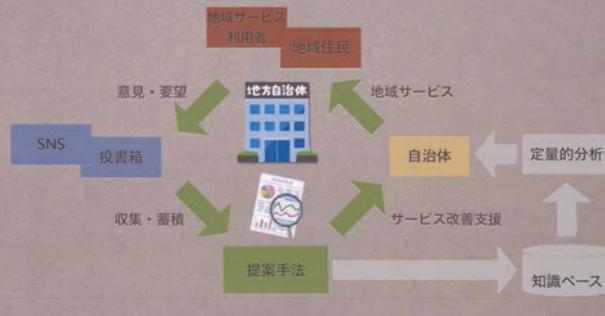
- 情報のまとまりを邪魔する要素の排除



処理例：「小説」をキーワードとする投稿



実施イメージ



今後の課題

- トピック名の自動生成は難しい：簡易生成→人間判断
- 自動処理と人間の感覚のズレを分析する：生成AIの活用
- 人間判断と自動処理が協調できる仕掛けを組み込む

おわりに

長期目的

- 地域振興に関する意見情報の効果的分析手法の提案
 - SNSにおける地域への意見情報は非常に疎
 - 定性的分析方法の実現
 - 定性的分析結果の蓄積
 - データ規模の拡大
 - 定量的分析の適用

短期目的

- 定性的分析方法の自動化
 - 定性的分析方法（Grounded Theory Approach）のサブタスク化
 - サブタスクに対応する技術の検討
 - 一部のサブタスクに対する検証

まとめ

- 地域サービスに対する意見や要望を効率よく収集・分析する技術の実現を目指す産学協同研究事例について紹介した。
- 若年層の意見を確保するためにSNSに目を付けた。
- しかし、SNS上の地域サービスに対する意見はとてもまばらだった。
- そこで、疎なデータに対しても性能が発揮できるテキスト分析手法を開発した。
- 3年間の試行錯誤の末、一定の性能が得られる技術を構築した。
- 今後は、性能向上への取り組みと、実証実験を進める予定である。

・ 高田大電 柳井文人 地域サービスに対する意見を分析するための自動分析手法の実証。2023年電子情報通信学会総会大会。D-5-4。2023.3.9。さいたま市
 ・ 高田大電 柳井文人 高橋哲也 藤澤隆 異質的分析対象性におけるトピック抽出と解釈可能性の検証。2024年電子情報通信学会総会大会。D-4-04。2024.3.14。東京会場

■ 例会予告	10月14日	出席に関して	出席委員会
	11月21日	会員卓話	神野 賢一 会員 プログラム委員会

出席報告 (10月10日分) 第2502回 職場訪問移動例会 石田出席委員長

	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した免除者の数 (D)	事前メイクアップ (E)	事後メイクアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	10月10日	60 (休会者 3名)	12	36	5	0		67.9%

出席報告 出席委員会

	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した免除者の数 (D)	事前メイクアップ (E)	事後メイクアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	10月24日	60 (休会者 3名)	12	50	11	0		84.7%